

# さんくす

## アピタ笠懸店、20年の営業に幕

ユニーグループのアピタ笠懸店が、2月19日に20年の営業を終え、閉店となりました。同店は平成9年2月に大型商業施設として誕生して以来、食品や衣料、生活雑貨など、多岐にわたる品揃えで地域住民の生活を支えてきました。しかし、昨年ユニーグループは全国でアピタ50店舗の閉店を発表。県内でもアピタ笠懸店と館林店の撤退が明らかになりました。

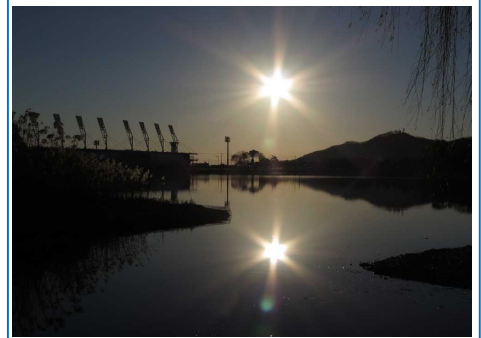
笠懸店は事業用定期借地契約として20年の期限を迎える2月19日をもって閉店となりました。地元住民からは「三区はアピタがあって生活の便が良いところだった、閉店はとても残念」といったものや、「これからどこで買い物をしたら良いのか、困ってしまう」などの声も聞こえ、商業施設継続の要望は少なくありません。



アピタ閉店後については、既存建物は、3月1日から8月末にかけて取り壊しとなる予定で、大手住宅メーカー系の商業施設運営会社がショッピングモールを計画しています。食品スーパーをショッピングモールの基幹として、飲食店やドラッグストア、雑貨店、などの誘致を行っているほか、笠懸商工会会員向けのテナントも検討中の模様です。

なお、新たなショッピングモールの開業時期については、関係機関との調整もあって、明確にされていませんが、早くても平成30年5月以降となるようです。写真：涙ながらに閉店の挨拶をする太田利幸店長。

写真：涙ながらに閉店の挨拶をする太田利幸店長。



## 元日の風景

阿左美沼の湖面は新春の太陽を鏡のように映しました。風の無い穏やかな元旦となりました。(写真上)

三区区民らの応援を受けて、ニューイヤー駅伝の選手が飛ぶように駆け抜けます。酉年の2017年、まさに羽ばたく年になってほしいところです。(写真下)



## 連載：阿左美の歴史・地域の文化財 11 人口増加で村から町へと変貌

バブル経済が本格化した昭和62年(1987)笠懸村の人口は2万人を超えました。この時期に森田満蔵村長が誕生しました。活力と気力に満ちた村は平成元年村制施行100周年を祝い、故相沢忠洋氏に名誉村民の称号贈りました。翌平成2年町制を施行し笠懸村から笠懸町になりました。

目覚ましい発展を遂げたこの時期の記憶を辿ると、平成2年に小学生中国派遣事業、翌年中学生アメリカ派遣事業が始まりました。平成4年には笠懸野岩宿文化資料館が開館し、平成5年には笠懸野文化ホール「パル」が完成しました。この年に第1回笠懸まつりが実施されました。平成7年にはまちづくり交流館(現在の笠懸公民館)が完成し、平成8年岩宿の里でカタクリさくらまつりが開催されました。平成9年は町立図書館が完成、同年温泉施設「かたくりの湯」がオープンしました。写真：東小学校起工、昭和50年(Webタイムス笠懸提供)



## 笠懸東小学校4年生による阿左美沼清掃

笠懸東小4年生による阿左美沼清掃が11月22日(水)午後2時より児童90名、先生8名、保護者14名、美しい阿左美沼を守る会や阿左美沼土地改良区役員など総勢140名が参加し実施されました。

土地改良区役員や校長先生による諸注意のあと、3班に分かれ阿左美沼をほぼ一周する形で清掃活動が実施されました。

生徒達は新しい発見をするかのように、水辺に入り泥んこになりながらもゴミ拾い体験を楽しんでいました。付添いの保護者や各団体の役員の方々による真剣なサポートもあり約1時間ほどで、トラック一杯のゴミ収集ができました。

保護者や地域の人達との清掃活動が、貴重な体験学習として今後とも継続されることを望みます。



阿左美沼の清掃をする4年生

## 平成28年度各種団体反省会

2月11日(土)三区公民館において、公民館主催による平成28年度各種団体反省会が開催されました。

各種団体とは公民館活動を通じて区の行事に参加、協力している団体、またその主旨に賛同している団体や協力員の方々です。

今年は総勢約90名



の参加者で賑わいました。はじめに森田区長より「年度末までまだ行事が残っていますが、これまで各事業の運営に各種団体役員や協力員の協力に感謝します」との挨拶がありました。赤石公民館長は「納涼祭の運営などに大変お世話になりました」とお礼の言葉がありました。

赤石晋一前区長の乾杯で慰労を兼ねた反省会が始まり、笑顔と歓談で大いに盛り上がりました。

余興や抽選会のあと親老会赤石幸雄会長のメでお開きとなり各世代の懇親と親睦が図られた反省会となりました。写真:三区を支える各種団体の方々。



手打ち蕎麦に大満足

## わかばサロンⅡゲームと手打ち蕎麦

1月11日(水)10時より三区公民館において、わかばサロンⅡ(福祉部主催)が開催されました。

当日の朝は冷え込みましたが、日中は穏やかな日和となり、スタッフを含めて48名の参加者で賑わいました。南京玉すだれや琴演奏、体操、輪投げゲーム等楽しんだ後に、阿左美蕎麦愛好会のメンバーにより、地元笠懸産のそば粉を使用した挽きたて、打ち立て、茹でたての美味しい手打ちそばを堪能しました。

参加者それぞれが、景品や記念品などをいただき、笑顔がこぼれるわかばサロンⅡでした。

## 民生委員、任期満了に伴い交代

民生委員を15年にわたり務めた赤石和子さんと、9年務めた赤石真智代さんが11月30日の任期満了を持って、このほど退任しました。両名には永きにわたり、地域の福祉活動に尽力いただきました。

代わって、12月1日より和泉たか代さん、下山登美子さんが務めることになりました。

## 我が家の自慢料理

今回はおもちを使った料理を紹介します。我が家ではもちピザという、おやつ感覚の一押しの品です。材料は次のとおり。



1. 水菜を2~3cm切る。
  2. 長ネギを大きめに斜め切る。
  3. もち サイコロ大切り。
  4. ベーコンやハムなどもちと同等切る。
  5. めんつゆ適量。
  6. ピザ用チーズ。
- フライパンにクッキングシートをしき材料1~6の順に重ね入れふたをして、中火でもちがやわらかくなるまで加熱します。大きめ野菜と小さいおもちの組み合わせがとても美味しいと家族に大好評です。投稿者 主婦M

## 笠懸町子ども会 上毛かるた大会 三区 低学年Bチーム準優勝！

1月15日(日)に笠懸公民館で、笠懸町子ども会上毛かるた大会が開催されました。

三区からは、1年生～6年生の33人が3人1組の団体戦と個人戦にチーム編成し、低学年の部(1年生～4年生)と高学年の部(5、6年生)に団体3チームと個人3人の合計6チームが出場しました。

大会当日は寒さ厳しく、午前中は雪が舞っていましたが、参加者は元気に集合していました。上毛かるたは、1947年



低学年の入賞者

に製作されてから長年にわたり県民に広く活用と親しまれています。大会出場に向けて、11月末から1月13日まで週2回の練習をしてきたそうです。練習の成果を大会で発揮した結果、低学年Bチームは準優勝となり笠懸町代表として、みどり市大会に出場し5位となりました。

子ども達は練習の時から真剣な表情で札を取り合っていました。お正月の伝統行事に参加できたことは、良い思い出になることでしょう。



表彰式

## 大掃除&避難訓練&炊飯実験

三区公民館の大掃除が12月4日(日)、午前9時から、各種団体・サークル他公民館利用者の約80人が参加し行われました。

テーブル、イス、座布団、畳、網戸等を全部屋外に運び出しての清掃と広場の除草作業など一年間お世話になった公民館に感謝の気持ちをこめてきれいになりました。

掃除終了後には桐生市消防本部とみどり市消防団第一分団の指導と協力をえて、調理室から出火想定で避難訓練が実施されました。火が発生した時の注意点や消火器の操作方法を学んだあと消火訓練を行いました。



無事に炊けました

また、災害発生時の対応に備え炊飯実験も行いました。前もって作成したスウェーデントーチと呼ばれる薪に10Kgのお米を入れた大きな釜を直接乗せて、約1時間での炊きあがりとなりました。「災害時の空腹を満たすには十分の評価」となり、約70パックに詰める事が出来て参加者に配られました。



利用者みんなで大掃除

## ドッジボール

### 仲間募集

三区子ども育成会では、ドッジボールに参加してくれる小学生のメンバーを募集します。

まずは「体験から」「見学から」でも大歓迎です。仲間たちと一緒に練習して汗を流しましょう！夏季と秋季に開催する笠懸町の球技大会に三区チームとして出場します。

学年の違う子ども達が仲間となって上位入賞を目指しましょう。

今年度の大会成績：夏季大会 3位／秋季大会 準優勝／みどり市大会4位。

◆ 初回練習日時：4月15日(土)10:00～12:00

◆ 練習場所：笠懸東小体育館

◆ 毎週土曜日に練習

◆ 募集要項は小学校を通じて配布します。

【問い合わせ先】中村 080-6629-5543

## 消防団員を募集、1分団

みどり市では地域の安全を守る消防団員を募集しています。消防団員は火災発生時の消火活動や災害時に人命を守るための活動などを行っていて、地域の安全安心を守るため、とても重要な役割を担っています。

三区に拠点を置く1分団には現在15人が籍を置きますが、日常の仕事をこなしながら消防団員として活動するため、昼間の火災などでは十分に人手

が確保できないのが現状です。この事から、みどり市では地域を守るサポーターとして、消防団員を募集しています。問い合わせは危機管理課0277-76-0960

写真は歳末夜警にあたり、市長の激励を受ける消防団員。



## 浅海八幡宮 節分祭

2月3日(金)は節分です。節分とは[季節を分ける]つまり季節が移り替わる節日を指し、立春、立夏、立秋。立冬それぞれの前日を指します。

旧暦では立春が一年の始まりとして、とくに尊ばれたため、次第に立春の前日のみを指すようになってきました。立春を新年の始まりと考えれば、節分は大晦日にあたります。

古来より旧年の厄や災難を払い清める行事が行われてきました。室町時代以降は豆をまいて悪鬼を追い出す行事として定着してきました。最近では恵方巻きも有名です。写真は浅海八幡宮の節分祭の様です。



## シリーズ防災対策・Ⅳ 避難所・組織

災害時に情報収集や対応の判断を行う対策本部を設置するのは、3区公民館を予定しています。このほか、東小学校や南中学校も避難所になっています。避難場所は数が多い方が良いという考えもありますが、情報収集や伝達を確実に行うためには、避難所の数を絞り込んだ方が良いようです。

小中学校の場合は、複数の区や仕事にきている就労者の避難も想定されます。そのため、特に1区・2区・3区では情報を共有して避難者への対応をする事になります。

防災会の会長を区長、副会長には副区長をあて、副区長は公民館主事らとともに、情報班、初期消火班、避難誘導班、救出・救護班、給食・給水班のリーダーとしてそれぞれ対応することになっています。

また、全ての隣組長は、防災員としての任を委嘱され、救助や支援の要請、安否確認などを取りまとめ、対策本部に連絡することになっています。したがって、区民の皆さんは、自身の安全を確保した上で、隣組長さんに安否の報告や避難状況を報告して戴くよう心がけて下さい。

なお、区の規約は「災害時に会長または会長を代行する者が、災害対策委員長を指名することができるものとする」と記されていて、災害対策のエキスパートを招聘して対策にあたる事が出来るようにするためのものです。

## ちょっとピンぼけ

その方と出会って3年が経ちました。時々私の職場に立ち寄ります。来るときは必ず手書きの資料をもって来ます。若い頃から、読んだ本の内容をまとめているそうです。そして、それが楽しみだそうです。

農業現役81歳。みなさんも何か続けていることがありますか。例えば、ダイエット、ウォーキング、英会話等々。好きだから、楽しいから、続けられる。でも何かを続けるってことは、本当に難しいことだといつも思います。

みなさんが続けていることを教えてください。紙面にとりあげることによって、読者のヒントとなり、続けているひとのパワーにもなると思うからです。どんなことでも、長く続けていると、次第に興味がわき、詳しくなり、人とつながり、そして新たな世界が広がるような気がしませんか。

「さんくす」も今回12号の発行となり、丸3年が経過しました。3年間継続することができました。みなさんからのご意見ご要望をお待ちしています。そして、編集に参加しませんか。(Y. T)